

石川県が開発したフリージアシリーズ

「エアリーフローラ」の生産振興

中央普及支援センター



エアリーフローラ シリーズ

左上から、
ピーチ、ローズ、レッド、
オレンジ、パープル、イエロー、ピンク

平成24年12月、本県が開発したフリージア新品種のシリーズ名が「優美な春の女神」を意味する「エアリーフローラ」に決まりました。県では、JA全農いしかわと連携して、「旅立ちを祝う花」をコンセプトとした「エアリーフローラ」のPR活動を展開しており、同時に、卒業式シーズンの2月から3月を中心とした生産拡大を目指しています。

本格生産の初年目となる平成24年度は、既存の花き農家を中心に県内38戸がエアリーフローラの栽培に取り組みました。しかし、各品種の特性や土壌条件等に応じた、きめ細かい栽培技術が十分に確立されていませんでした。

このため当センターでは、生産現場での課題を的確に解決するため、農林総合事務所及び農業試験場の花き担当者からなる技術支援チームを結成しました。結成1年目の今年度は、まず基礎となる栽培データを蓄積するため、すべての栽培農家を対象に品種ごとの球根定植日や施肥状況、発雷や収穫時期を調査しており、将来の出荷シミュレーションに繋げる予定です。

「エアリーフローラ」は、日本人の好みに合う中間色で全国でも類を見ないカラーバリエーションの豊富さから、石川県を代表する花となることが期待されています。平成29年には100万本を生産し、県内外の市場へ出荷することを目指し、安定生産技術の確立だけでなく、花き栽培の経験がない農家に対しても栽培を推進し、生産拡大につながるよう、技術支援チーム一丸となって取り組んでいきます。

問い合わせ先：農林総合研究センター農業試験場
中央普及支援センター
(076-257-9150)